

世界かんがい施設遺産

やまとがわぶんすいつきどめかかり

大和川分水 築留掛かり

[大阪府・柏原市他]

Tsukidome Irrigation Canal

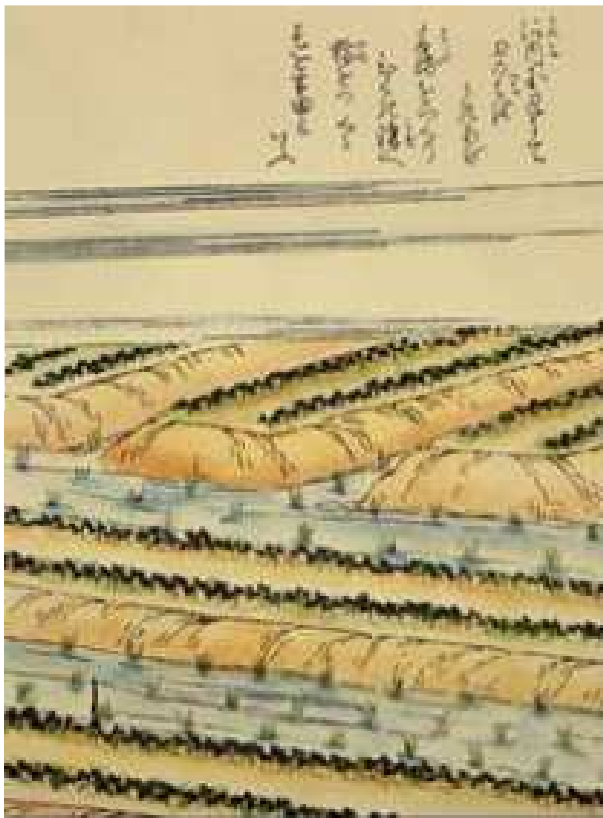


大阪の発展に貢献した水路と
75もの村による維持管理組織「築留樋組」

- 大和川の付け替えに伴い建設された長瀬川・玉串川を指す。綿の大産地となり、加工品「河内木綿」による商業の発展にも貢献。
- 受益75箇村すべてを構成員とした「築留樋組」による大規模で細やかな維持管理が行われていた。
- 近年、都市化が進む中、かんがい施設としてだけでなく貴重な水空間として、非農家や子供も協力して維持管理。



築留樋組用水路測図（1880年） 関係各村の代表が合意



河内木綿の栽培風景
盛土を畑（綿）に、低地を水田に利用



現在の長瀬川 非農家との維持管理



現在の玉串川